

北九州市が発行する「サステナビリティボンド」への投資について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、このたび、北九州市が発行するサステナビリティボンド（名称：「北九州市SDGs未来債」、発行総額100億円）への投資を決定しました。

サステナビリティボンドとは、調達資金の使途が、環境改善効果（グリーン性）および社会的課題解決（ソーシャル性）の双方に資するプロジェクトに充てられる債券です。

「北九州市SDGs未来債」による調達資金は、洋上風力発電関連事業、豪雨災害から市民を守るための防災対策事業、災害廃棄物処理への対応、自然環境の保全、公共施設の更新・改修、子育て・教育環境の整備等の事業に充当される予定です。

「北九州市SDGs未来債」は、国際資本市場協会（ICMA: International Capital Market Association）が定義する「ソーシャルボンド原則2021」、「サステナビリティボンドガイドライン2021」、「グリーンボンド原則 2021」に加え、対象事業のグリーン性については「環境省グリーンボンドガイドライン2020年版」に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しております。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、サステナブルファイナンス・環境ファイナンス等による資金調達支援をはじめ、脱炭素化に向けた事業の強化・転換に資する助言やソリューション提供に積極的に取り組んでいきます。

以 上